

7 情第 21 号
令和 7 年 5 月 23 日

総務大臣 村上 誠一郎 様

岡崎市長 内田 康宏

事後評価報告書（中間評価）

無線システム普及支援事業等補助金交付要綱補足事項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 事業概要

- (1)工事完了日 ：令和 4 年 3 月 24 日
(2)サービス開始日：令和 4 年 4 月 1 日

2. 目標達成状況（累計）

指標	目標	（実績値/目標値）			
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
Wifi の設置世帯数	1,142世帯 （令和 7 年度）	260/444	311/665	322/887	—/1,142

（参考）

提供可能回線数	利用回線数			
	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
1,955 回線	260回線	311回線	322回線	一回線

3. 目標達成に向けて実施した取組

①エリアごとに説明会を実施

各エリアの総代へ挨拶と説明会の相談を行い、専用のキャンペーンを用意し FTTH 化と同時に追加サービス契約も推進

・ 東部エリア：2021/12/12、18、19、25、26、2022/1/14、15、16、22、23

2022/1/15、16、22、23、2/5、2/6、19、20、3/5、19、4/17

・ 大平エリア：訪問にて個別対応

・ 六ツ美エリア：2022/1/16、2/20、3/19

②実施内容

・ HFC 加入者へ光化促進+説明会兼相談会案内のDM発送し、全対象者へテレマーケティングを実施し、説明会兼相談会へ誘導し FTTH 化を進めた

※来場されなかった方にはテレマ実施し、訪問にて順次 FTTH 化促進

・ 対象エリア全戸へ光化促進+説明会兼相談会案内をタウンメールで発送

※タウンメールは全戸のため、ミクス加入者・未加入者関係なく、ポストがある戸建に投函

・ 公民館・市民センターでの説明会兼相談会に来場されなかった方、訪問、テレマーケティングでも連絡取れなかった方は、営業代理店を活用し H F C から F T T H 化を促進

・ 未加入者宅も営業代理店にて新規加入促進の訪問販売を実施

③市広報誌への掲載

市広報誌にて光サービスの加入促進を行った。

掲載した広報誌の発行号については以下のとおり。

・ 2022 年 3 月号

・ 2022 年 9 月号

・ 2023 年 3 月号

・ 2023 年 9 月号

・ 2024 年 3 月号

・ 2024 年 9 月号

4. 評価

無線局の開設

目標を達成していないが、相談会、営業代理店等を活用し 322 回線を獲得。既存の H F C 加入者は全て光化が完了している。

利用回線数

322 回線あるが、通信回線の利用方法の周知や他事業者との差別化の告知ができていなかったために加入の伸び悩みがあった。

5. 課題への対応策

無線局の開設及び利用回線の向上に向けて、以下を実施する。

1) 営業委託代理店の活動強化（代理店変更による人員増員 4名増員）

- ・六ツ美エリア営業委託代理店にて加入促進活動の実施
（令和6年度：2名→令和7年度は6名（4名増員）で活動）

2) 周知広報の取組み

- ・対象世帯全戸へのチラシ投函(複数回)
チラシ投函により一定数の加入者の獲得に繋がることが見込まれるため、令和6年度に引き続き実施する。
- ・SNS、HPでの広報強化
ミクスネットワーク(株)のHP、Instagram、LINEを用いて若年層（20～30代）をターゲット層に広報を強化する。
- ・携帯キャリア（au/UQ/SB/Ym）との提携強化によるサービス周知
スマートバリュー・おうち割
（携帯と自宅のネット（光回線）と固定電話（光回線）をセットにすることで、毎月の携帯料金が割引されるサービス）
割引目的での加入が期待できるとともに、通信会社と競合しつつも「ネット・電話＋TV」で地域インフラを担う立場を確保し、大手キャリアと提携することでブランド力・安心感も得ることができる。

3) 相談窓口の拡大

- ・戸別訪問によるサービス説明、問い合わせへの迅速な訪問対応
個別訪問によるサービス説明は、一定数の加入者の獲得に繋がることが見込まれるため、令和6年度に引き続き実施する。
- ・近隣のショッピングセンターやJA あいち三河の商業施設での販促・相談イベント（無線環境の相談）の実施（隔月1回）

4) 加入促進に係る取組み

- ・10Gの価格改定により選択コースの拡大
競合他社を意識した安価な価格でのサービスの提供をすることで、新規加入者の獲得を目指す。
- ・メッシュWifiの安価提供
- ・既存加入者からの紹介制度による加入特典付加

5) 整備された光ファイバの活用

- ・小中学校及び付帯する市民ホーム・児童センターへのWi-fi無料開放
- ・集合住宅への棟内一括無線化について、オーナー及び管理会社への提案
- ・防犯カメラサービスの提供、サービス運用に関してWifi環境の利便性の提案

- ・自治体への高齢者向け e スポーツによる認知症防止などの施策提案、実施
- ・小中学校及び付帯する市民ホーム及び児童センターへの Wi-fi 無料開放
- ・保育園の Wi-Fi 環境整備（入退園アプリを利用、温湿度計測）
- ・河川、排水路、ため池監視（水位監視、監視カメラ）の活用
- ・温度湿度照度の観測データ収集（市内各所）
- ・農業支援（Wi-Fi 環境整備により監視カメラ、獣害対策、水位監視など）

これらの活動を実施していくことで再評価時には、無線局の開設目標を達成でき、利用回線数の向上も図れる見込みである。